

エコニュース さって



第 36 号

平成 23 年 2 月 26 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

第 2 回市民環境講座

1 月 1 8 日 (火)

江戸のまちにタイムスリップ 上高野小・エコライフの学習

この日の最後の授業（6 時限）に 5 年生 7 2 人が集まりました。中山善広校長の講師紹介の後、エコリサイクル連絡会の宮田事務局長が授業をしました。内容は昨年 1 1 月 1 0 日に開催した第 1 回市民環境講座と同じ「分別のはじまり」ですが、今回は将来のグリーンコンシューマーたちが聞き手です。宮田さんの話も熱が入り、4 5 分の間、みんな熱心に学習しました。(本田)

まず、「グリーンコンシューマー」の話、ちょっと難しいかなと思いましたが、話を終わって、「リサイクルは終点ではなくて、もっと大事なリユースとリデュースがあることをはじめて知りました。」という、たのもしい言葉が返ってきました。

話が江戸の町にタイムスリップ。まず、「衣」、布がとても大切にされていました。お姉さんやお兄さんの洋服をもらったことがあるこどももいて、身近に感じてました。

ゴミ処理の仕組みはりっぱにできていましたが、町の人たちは物をととても大事にして、再利用が進んでいたのも、ゴミは少なくすんでました。今はゴミにしてしまっている物が原料として使われていたことに、びっくりしました。下肥、古着、灰、紙・・・。

この日の最後の授業でしたが、グリーンコンシューマーについて、しっかり学習しました。

第 4 回環境講座のお知らせ

容器包装の歴史から 環境配慮を知ろう

容器包装は文明・文化のバロメーターといわれます。容器包装の紀元前数千年前から現在までの歩みをたどりながら、物の保護、輸送など日常生活には無くてはならない役割を果たしていることを確認します。20 世紀後半の大量（生産・消費・廃棄）の時代を教訓に、今世紀に入り、環境に配慮した包装を推進していることを学びましょう。

日 時 3 月 1 9 日 (土) 午後 1 時

場 所 中央公民館

定 員 3 0 名 (先着順)

問合せ & 申込先

幸手市市民生活部 環境課 環境担当

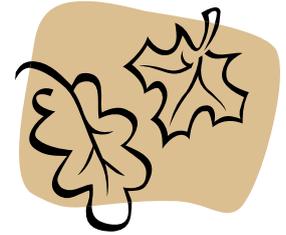
TEL48-0331 FAX48-2226

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市 HP）、エコライフ DAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42-8412）まで。

第63回腐葉土づくりの会

全員で2月下旬～3月の種ジャガイモ植えと5月の家庭菜園用のための切り返し作業を行いました！



1月23日(日)10時から、今年は従来にない乾燥注意報が出っ放しの気象で、大寒に入り非常に寒い快晴の下で、24名の大勢が集まり切り返し作業を行いました。

冒頭、会長から新たに入会した大塚さんの紹介があり、前回の活動結果報告と2月26(土)午後1時からの、環境講座「菜の花プロジェクト報告会&搾油した油でかんたん料理」の案内があった後、事務局から切り返しの作業手順を説明して作業を開始しました。

今回は、4基の床を手分けして作業しました。左から1基目は熟成が進んでおり2月の頒布に合わせて最後の床内の切り返しを行いました。2基目も5月の家庭菜園用のために乾燥汚泥土と水を撒きながら床内の切り返しを行いました。3基目は4基目の上層部の切り返し分を積層し米糠、乾燥汚泥土を仕込みと水を撒きよく踏み込みました。4基目は環境課に新たに集めて頂いた落ち葉を仕込み、米糠、乾燥汚泥土と水を撒きよく踏み込みました。1基目以外は雨雪が降らないため水分不足で腐植が遅れている様子であり水をタップリやり乾燥を防ぐためシートを被せました。

また、環境課に詰めていただいている乾燥汚泥土の袋が不足しており、事務局で使用済みの米袋(リユース用)を用意しましたが、各位が持ち帰っている乾燥汚泥土の袋もリユースしたいので破かないように扱い返却するようにお願いしました。(澤村)

第62回腐葉土づくりの会

腐葉土の切り返しと種ジャガイモ植えの準備の草取りを行いました！

12月19日(日)9時から、寒風の中、23名が集まり、最初に会長から今年度の環境講座の予定を含めた挨拶後、事務局から落ち葉の仕込みと切り返し作業の自称力持ちの男性のAグループと、女性中心の農園の草取りのBグループの2グループに分けての作業することの案内をして実作業に入りました。

Aグループは第3基から第4基目へ、第2基の一部を第3基へ切り返ししながら、既に環境課に集めて頂いた40数かごの落ち葉を仕込む作業を行いました。残った第2基分は重労働で疲労困憊の様子なのでそのままにし、また、第1基も熟成が進んでいるようなので必要があれば1月に切り返しをすることにしました。寒い中でしたが息切れし汗をかく程でした。

Bグループは農園に行き、冬の草は小さいけれど根が張っていて放置しておく春には大きく成長して草取りが大変になり、また地主が耕してもごろごろして中々細かくなり難いので、今回初めて冬の草取りを、寒い中全員が横に並んでコミュニケーションしながら行いました。

最後に、3月上旬に種ジャガイモの植付けを予定していることと、次回は、1月23日(日)10時からの開催を案内して散会しました。(澤村)

菜の花だより

権現堂の菜の花から、ケーキができた！ 幸手小学校 2月23日(水)

昨年、幸手小学校(小山茂男校長)の5年生が権現堂で収穫したナタネが油になりました。そのナタネ油を使って、すこやか「食」の会(原スズ子会長)のみなさんの助けを借りて、今回はケーキづくりに挑戦しました。

2月23日(水)3時間目、エプロンをした5年生、47人が集合しました。今日の献立はココアの入ったケーキと焼きねぎです。どちらもナタネ油を使います。

7つの調理台に分かれて、さっそく作業開始。まず最初は手をきれいに洗います。材料を確認して、りんごとバナナを切り始める人、ボウルで粉をまぜる人とみんなの手分け。包丁さばきもだんだん上手になり、30分ほどで、どのテーブルにも練りあがったケーキができました。

焼きあがるまでの時間に、お米のことを勉強したり、搾油機でナタネから油を絞るようすを見ました。ケーキはどうなったかな、お待ちどうさまでした。

みんなで作ったケーキは格別の味だったようです。ぼくでもできそうだから、うちで作ったみたいという声もありました。そして、採れたての新鮮なねぎも残さず食べました、甘かったね。すこやか「食」の会のみなさんの真心がしっかり伝わりました。後片付けもみんなできちんと済ませて、楽しい授業が終わりました。(本田)

子育て応援まつり 12月12日(日)

久しぶりに紙芝居をやりました！

今年も子育て応援祭りが盛大に開催され、さって市民環境ネットも参加しました。活動を紹介した展示、工作コーナー、そして紙芝居と映写会を行いました。

展示物では、菜の花プロジェクトの活動、浮島づくりや小学校への出前授業などの私たちの活動に興味を持たれ、渡された「エコニュースさって」にメモをされている方も見受けました。

恒例になった木村さん(森のトラスト協会)の工作コーナーはあいかわらず評判がよくて、用意していた、がりがりトンボ80本、こま40個はすべてなくなり、こどもたちは得意げにまわして遊んでいました。また、くるくるグライダーやニワウルシも女の子に評判だったようです。100人ほどのこどもたちに楽しんでもらいました。

午後からは、2階第1会議室で紙芝居と映写会を行い、65人の親子連れが集まりました。宮田さんの熱演に引き込まれて、こどもたちは環境紙芝居を熱心に見ていました。続いて、「スノーマン」や「ファザークリスマス」を映写しましたが、こちらは少し難しかったかなと思います。ウォルトディズニーやドナルドダックのようなものの方がよかったかな、感じました。

各地区でも「子育て」にかんしては、いろいろな行事が行われ、幸手の「子育て応援まつり」も今後も続いていくことでしょう。さって市民環境ネットも引き続き、参加していきたいと思います。(小谷)

川の再生交流会

1月29日 埼玉会館

広げよう川の守り人！ 行幸湖に浮島を浮かべて、5年

さって市民環境ネットは、川の再生交流会で活動事例として、行幸湖の浮島づくり（浮きウキフェスタ）について発表しました。



川の再生交流会は年に1回、1月に開催されています。今年は県下で活動している約400団体が集まりました。上田知事の挨拶で始まり、フォトコンテストと水辺のサポーター10団体の表彰式が行われました。続いて、知事の「川の守り人広げよう」宣言の後、私たちを含めて、4グループが活動事例を発表しました。

私たちは、行幸湖の浮島づくり、浮きウキフェスタを5年間続けてきた中で、活動の輪を広げてきた過程を「協働」という切り口で話しました。浮島づくりは、「川の再生100プラン」事業に選定されて、行政、企業との連携が深まり、市民参加の大きなイベントになりました。今年はこれを定着させる重要な年です。他のグループもがんばっている様子を話しました。子どもたちが参加した2つのグループの発表は会場に感動を残しました。

*よみがえれ元荒川の会と蓮田市黒浜西小、綾瀬川を愛する会と川口市戸塚南小

現在、埼玉県には「水辺のサポーター」198団体と水すましクラブ215団体が登録され、活動をしています。 参加：久保田、本田

エコ・リサイクル交流集会2011**～どうなっているの？ 私たちのごみ処理費用～**

2月17日（木）にさいたま市文化センターで年に1回恒例になっているエコ・リサイクル交流集会が開催されました。

この会を主催している埼玉エコ・リサイクル連絡会は、これまで一貫して「ごみ」の問題を取り上げて、調査を続けています。（事務局長はさちネットの宮田さん）突破口はどこにあるのでしょうか。

ごみの収集や焼却炉の運転を取り扱っている自治体（行政）の努力によるところが大きいのですが、一方ごみを出す（作る）私たち市民がどうやって、ごみを減らしていくのか、それが前者に勝るとも劣らぬ大きな問題であることが発表されました。埼玉県下の各市町村の状況が読み取れるように工夫され、考察を加えられていて、参考になります。

幸手市の問題提起を考えてみるきっかけにしたいと思います。 参加：小谷、本田

予 告

4月16日（土）第5回中川探検ウォーク

春の声をさがしに、うららかな日差しの小径を歩いてみませんか！

集合場所 東公民館 9時30分集合

会費 100円

問合せ TEL 42-8412 本田（さって市民環境ネット）

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、幸ネット（子育て支援ネットワーク）、いきがい・はなみずきの会